

東芝テック(株)は、「グローバル・ワンストップ・ソリューション企業」を目指すことを中長期ビジョンに掲げ、差異化技術、商品、及びサービスを創出するため、社内及び東芝グループの持つユニークな技術や商品との連携強化を図り、創造的成長の実現に向け、その取組みを加速しております。

リテールソリューション事業分野では、POS(販売時点情報管理)販売台数ではグローバルシェアNo.1(注1)の顧客基盤を生かし、インスタソリューションからアウトストアソリューションへ、更にデータサービスソリューションの領域へと事業の拡大に取り組んでいます。またプリンティング事業分野では、差異化戦略を徹底し、パーティカル市場へ当社ならではのソリューション展開を図ることで事業領域の拡大に取り組んでいます。更にオートID(Identification)事業分野では、センシング技術とRFID(無線ICタグ)による差異化ソリューションのサプライチェーンへの展開に取り組む、インクジェット事業分野では、少ロット・多品種生産が加速する産業用印刷向けソリューションへの展開に取り組んでいます。

2014年は、従来紙に出力していたレシートを電子化し、買い物客自身のスマートフォンで閲覧できるスマートレシートシステム(注2)をはじめ、スマートフォンを活用した店舗内購買ソリューション、顔認識技術を用いて来館者情報を集計、分析する来館者管理システム、タブレットを活用したPOS端末、物品探索や在庫管理などに活用できるRFIDハンドリーダ、リモートでMFP(Multifunctional Peripherals)の利用状況などを管理できるMFP管理クラウドシステムなどを開発し商品化しました。

(注1) 2014年8月現在、当社調べ。

(注2) ハイライト編のp.21に関連記事掲載。

取締役 常務執行役員 商品・技術戦略企画部長 市原 一征

● コンシューマー モバイルショッピング TCxAmplify

スマートフォンを活用して店舗の既存POSソリューションをスムーズに拡張することができるアプリケーションTCxAmplifyを開発した。

消費者が買い物中に自分のスマートフォンで商品をスキャンし、レジでの精算時間を短縮することで、スムーズなチェックアウト及び店舗スタッフの削減が可能になる。また、買い物中に商品購入情報から個別プロモーション情報をスマートフォンに送信し表示させることが可能となり、新たな顧客へのアプローチ方法を提供できる。

チェックアウトレーン混雑時には、この端末を店舗スタッフが前さばき端末として活用することにより、チェックアウトレーンの混雑を解消することができる。



TCxAmplifyを使った買い物のようす

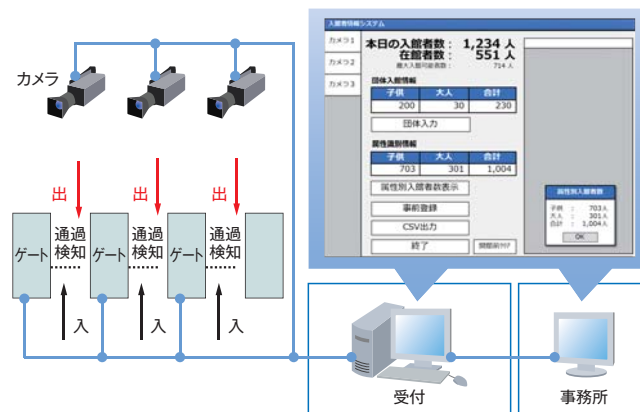
TCxAmplify consumer mobile shopping solution used in conjunction with point-of-sale (POS) applications

● 顔認識技術を用いた来館者カウント・属性集計システム

来館者の入退室管理を行うとともに、来館者の顔をカメラで撮影し、性別や年代などの属性情報を分析、集計する来館者カウント・属性集計システムを開発した。

このシステムは、時間別の統計データを集計でき、イベント企画などに集客結果を検証できる。セキュリティゲートの出力信号により、来館者、退館者、及び在館者の人数を集計、管理することができ、更に、在館者数が一定数以上になったときは、ブザー並びに監視画面の色を変えることにより、リアルタイムで受付と事務所に通知できる。

これにより受付担当者は、在館者数を逐次把握する必要がなくなり、入場制限などの対応が迅速にできるようになる。



CSV : Comma Separated Values

来館者のカウントと属性を集計するシステムの構成

Configuration of entry/exit management system providing information on number and attributes of visitors based on face recognition

● モバイルハイブリッドPOS端末 TCxFlight



据置きやモバイル用途に対応したPOS端末 TCxFlight
TCxFlight mobile hybrid solution for POS terminals

タブレットに専用ジャケットとドッキングステーションを組み合わせたモバイルハイブリッドPOS端末 TCxFlightを開発した。

主な特長は、次のとおりである。

- (1) 据置きやモバイル用途と多彩な構成が可能
- (2) 据置きやモバイル用途のどちらにも適したサイズの11.6型ワイドディスプレイ
- (3) 頑丈な専用ジャケットにより、店内のどこへでも持ち運べ、店内のどこからでもPOSアプリケーションを活用可能
- (4) POS端末だけでなく、KIOSK端末や、ワークステーションデスクトップなど様々な用途に使用可能

● RFIDハンドリーダ UF-2200



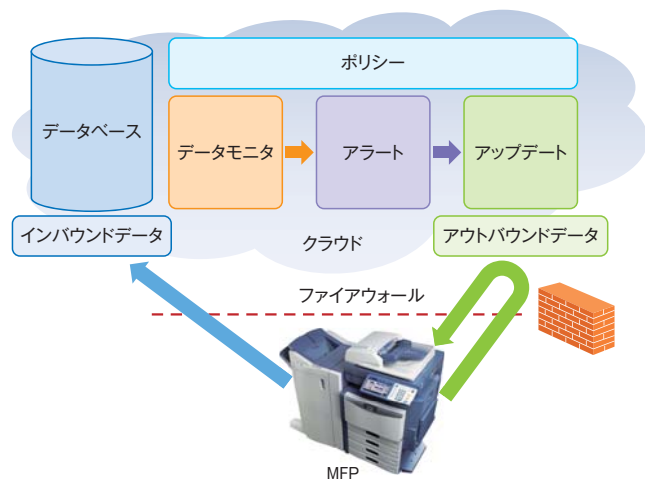
RFIDハンドリーダ UF-2200
UF-2200 radio-frequency identification (RFID) handheld reader

従来のハンドリーダのイメージを刷新するデザインに加え、タブレットやスマートフォンのアプリケーションと連動し、様々な場面で活用できるRFIDハンドリーダ UF-2200を開発した。

流通・アパレル業務では、入出荷業務と一括棚卸業務、及び商品探索機能などを1台でカバーできる。また、図書館業務や、金融・保険業の書類・資産管理、研究施設の薬品管理、製造業での部品管理など、広いスペースの中で所在管理が複雑な業務においては、遠くのタグも読み取れ、業務効率を飛躍的に向上させる。

UF-2200は、顧客の運用に合わせて構内無線局タイプ(500 mW)と特定小電力タイプ(125 mW)を選択できる。

● MFP管理クラウドシステム e-BRIDGE CloudConnect



e-BRIDGE CloudConnectの構成
Configuration of e-BRIDGE CloudConnect system for multifunctional peripherals (MFPs)

クラウド環境を活用したスケーラブルなMFP管理システムを開発した。

主な特長は、次のとおりである。

- (1) リモートでMFPを管理し、コストが掛かるサービスマンの顧客訪問回数を削減可能
- (2) MFPの動作状態を監視することで、故障予測が可能
- (3) MFPの利用状況を把握でき、次期製品の開発に役だつ情報を収集可能

このシステムは、2014年7月にサービスを開始し、既に北米市場で5,000台のMFPに接続しており、欧州や豪州市場へのサービス展開を計画している。